

# 数 学

注 意

- 1 問題は **1** から **4** までで、7 ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午前 11 時 00 分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 解答は全て解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えに根号が含まれるときは、根号を付けたまま、分母に根号を含まない形で表しなさい。また、根号の中は最も小さい整数にしなさい。
- 6 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 7 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

1 次の各問に答えよ。

〔問1〕  $\frac{\sqrt{6} + 3\sqrt{3}}{\sqrt{2}} + (\sqrt{3} - \sqrt{2})^2 + \sqrt{\frac{3}{2}}$  を計算せよ。

〔問2〕 2次方程式  $(x+1)(2x-3) = (x-1)^2$  を解け。

〔問3〕 不等式  $12 < \sqrt{13n} < 14$  を満たす自然数  $n$  の個数を求めよ。

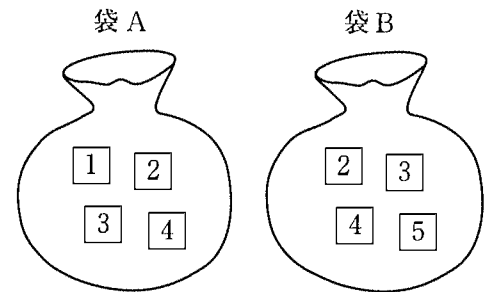
〔問4〕 右の図1のように、1, 2, 3, 4の数字が1つずつ書かれた4枚のカードが入っている袋Aと、2, 3, 4, 5の数字が1つずつ書かれた4枚のカードが入っている袋Bがある。

2つの袋A, Bから同時にそれぞれ1枚のカードを取り出す。

このとき、取り出したカードに書かれた2つの数の和を3で割った余りが2となる確率を求めよ。

ただし、2つの袋A, Bそれぞれにおいて、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとする。

図1

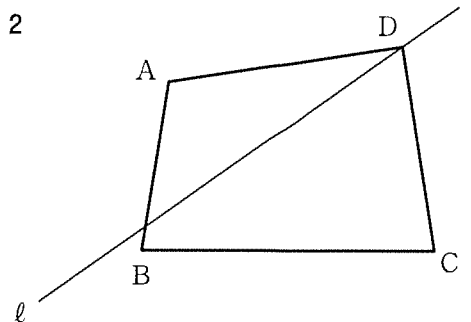


〔問5〕 右の図2の四角形 ABCD で、頂点 D を通る直線  $\ell$  を折り目として1回折り返すと、頂点 A が辺 BC と重なった。

解答欄に示した図をもとにして、折り目となる直線  $\ell$  を定規とコンパスを用いて作図せよ。

ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。

図2



2 右の図で、点  $O$  は原点、曲線  $f$  は  
関数  $y = ax^2$  ( $a > 0$ ) のグラフ、曲線  $g$  は  
関数  $y = -\frac{1}{4}x^2$  のグラフを表している。

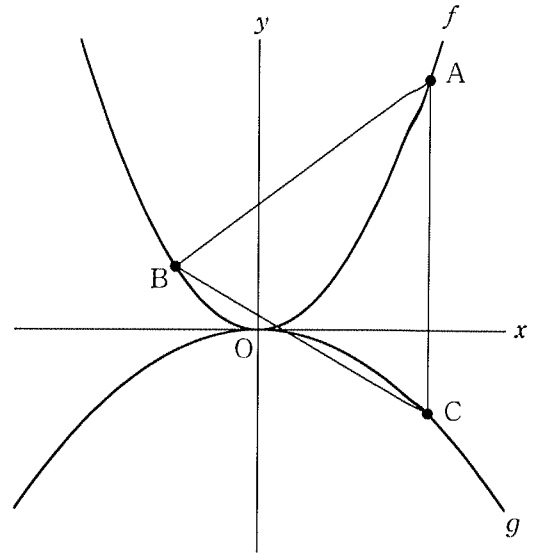
2 点  $A$ ,  $B$  はともに曲線  $f$  上にあり、点  $C$  は曲線  $g$   
上にある。

点  $A$  と点  $C$  の  $x$  座標はともに  $2t$ 、点  $B$  の  $x$  座標は  
 $-t$  である。

ただし、 $t > 0$  とする。

点  $A$  と点  $B$ 、点  $B$  と点  $C$ 、点  $C$  と点  $A$  をそれぞれ  
結ぶ。

次の各問に答えよ。



[問1]  $a = 1$ ,  $t = 1$  とする。

2 点  $B$ ,  $C$  を通る直線の式を求めよ。

[問2]  $\triangle ABC$  が  $\angle ABC = 90^\circ$  の直角二等辺三角形となるとき、 $t$  の値を求めよ。  
ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

[問3]  $t = 3$  とする。  
点 A を通り傾き 4 の直線が、 $\triangle ABC$  の面積を 2 等分するとき、 $a$  の値を求めよ。

3 右の図で、円Oは線分ABを直径とする円である。

点Bを通る円Oの接線上に、点Bと異なる点Cをとる。

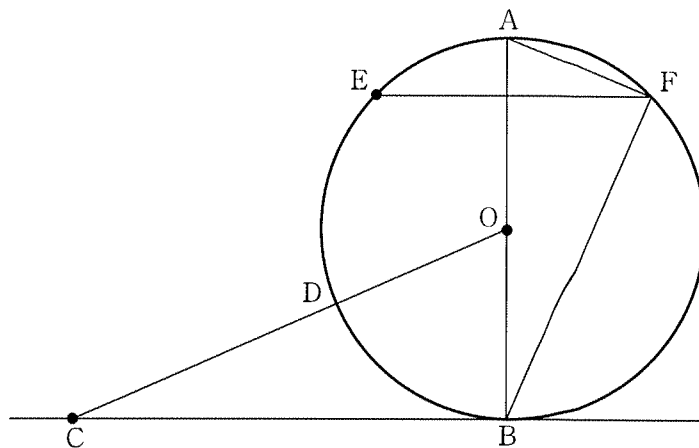
点Oと点Cを結び、線分OCと、円Oの交点をDとする。

点Dを含む $\widehat{AB}$ 上に、点Bと異なる点Eを、 $\widehat{BD} = \widehat{DE}$ となるようにとる。

点Eを通り接線BCに平行な直線と、円Oとの交点のうち、点Eと異なる点をFとする。

点Aと点F、点Bと点Fをそれぞれ結ぶ。

次の各問に答えよ。



[問1] 点Aを含む $\widehat{EF}$ と、点Aを含まない $\widehat{FB}$ の長さの比が6:7のとき、 $\angle OCB$ の大きさは何度か。

〔問2〕 次の(1), (2)に答えよ。

(1)  $\triangle OCB$  の  $\triangle ABF$  であることを証明せよ。

(2)  $\triangle OCB$  と  $\triangle ABF$  の相似比が  $3:2$  で、 $\triangle OCB$  の面積が  $9\sqrt{2}\text{cm}^2$  のとき、円  $O$  の直径は何  $\text{cm}$  か。

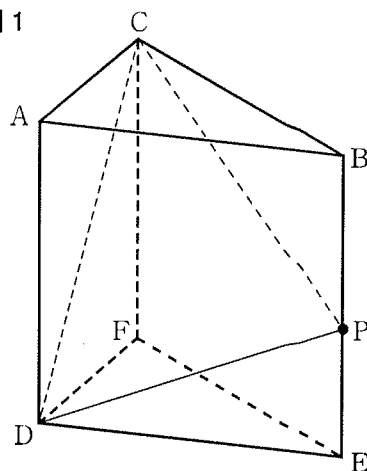
4 右の図1に示した立体  $ABC - DEF$  は、 $AB = BC = 5 \text{ cm}$ 、 $CA = 4 \text{ cm}$ 、 $AD = a \text{ cm}$  の三角柱である。

点  $P$  は辺  $BE$  上にある点で、頂点  $B$ 、頂点  $E$  のいずれにも一致しない。

頂点  $C$  と頂点  $D$ 、頂点  $C$  と点  $P$ 、頂点  $D$  と点  $P$  をそれぞれ結ぶ。

次の各問に答えよ。

図1



〔問1〕  $\triangle CDP$  が正三角形となるとき、 $a$  の値を求めよ。

〔問2〕 四角形  $ADPB$  の面積を  $S \text{ cm}^2$ 、四角形  $PEFC$  の面積を  $T \text{ cm}^2$ 、 $\triangle CDA$  の面積を  $U \text{ cm}^2$  とする。

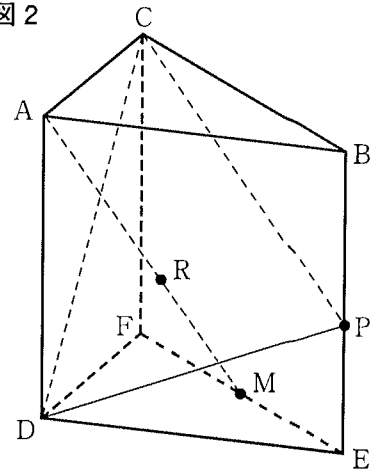
$S : T = 5 : 4$  のとき、 $T : U$  を最も簡単な整数の比で表せ。

ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

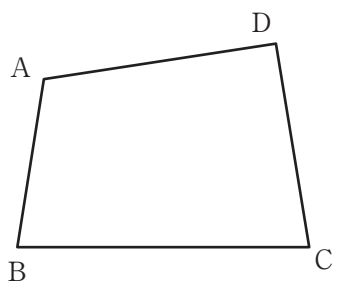
〔問3〕 右の図2は、図1において、辺EFの中点をMとし、  
 頂点Aと点Mを結び、線分AMと平面CDPとの交点をRとした場合を表している。

$a = 6$ 、 $EP = 2 \text{ cm}$  のとき、点Rと頂点D、点Rと  
 頂点E、点Rと頂点Fをそれぞれ結んでできる  
 立体R-DEFの体積を求めよ。

図2





1				点	2				点	3				点	4				点
〔問1〕					〔問1〕	$y =$				〔問1〕	度				〔問1〕	$a =$			
〔問2〕					〔問2〕	【 途中の式や計算など 】				〔問2〕	(1)	【 証 明 】			〔問2〕	【 途中の式や計算など 】			
〔問3〕	個				〔問3〕					〔問3〕					〔問3〕				
〔問4〕					〔問4〕					〔問4〕					〔問4〕				
〔問5〕					〔問5〕					〔問5〕					〔問5〕				
					(答え) $t =$					(答え) $T : U =$									
※ <span style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span> の欄には、記入しないこと					〔問3〕	$a =$				〔問2〕	(2)	cm			〔問3〕	cm <sup>3</sup>			
小計 1	小計 2	小計 3	小計 4	合 計 得 点	受 検 番 号														

<b>1</b>		点
[問 1]	$5 + \sqrt{3}$	5
[問 2]	$\frac{-1 \pm \sqrt{17}}{2}$	5
[問 3]	4      個	5
[問 4]	$\frac{5}{16}$	5
[問 5] 解答例		5

※    の欄には、記入しないこと

<b>2</b>		点
[問 1]	$y = -\frac{2}{3}x + \frac{1}{3}$	7
[問 2] 解答例	【 途中の式や計算など 】	10

点A, 点B, 点Cの座標を  $a$  と  $t$  を用いて表すと,  
 $A(2t, 4at^2)$ ,  $B(-t, at^2)$ ,  $C(2t, -t^2)$   
 辺ACの中点をDとすると,  $AC \parallel y$ 軸 より,  
 $D(2t, d)$ と表せる.  $AD=DC$  より,  
 $4at^2 - d = d - (-t^2)$   
 $d = \frac{4a-1}{2}t^2$   
 よって,  $D\left(2t, \frac{4a-1}{2}t^2\right)$   
 $BD \parallel x$ 軸より, 点Bと点Dのy座標は等しいから,  
 $at^2 = \frac{4a-1}{2}t^2$   
 $t^2 \times \frac{-2a+1}{2} = 0$   
 $t^2 \neq 0$  より,  $\frac{-2a+1}{2} = 0$   
 よって,  $a = \frac{1}{2}$   
 したがって,  $A(2t, 2t^2)$ ,  $B\left(-t, \frac{1}{2}t^2\right)$ ,  $D\left(2t, \frac{1}{2}t^2\right)$   
 $\triangle ABD$ は  $\angle BDA = 90^\circ$  の直角二等辺三角形であるから,  
 $BD=AD$ より,  $2t - (-t) = 2t^2 - \frac{1}{2}t^2$   
 整理して,  $t(t-2) = 0$   
 よって,  $t = 0, 2$   
 $t > 0$  より,  $t = 2$

(答え)  $t = 2$

[問 3]	$a = \frac{3}{7}$	8
-------	-------------------	---

合計得点	
受検番号	

小計	<b>1</b>	小計	<b>2</b>	小計	<b>3</b>	小計	<b>4</b>

<b>3</b>		点
[問 1]	27      度	7
[問 2] 解答例	(1)      【 証 明 】	10

$\triangle OCB$ と $\triangle ABF$ において,  
 直線BCは円Oの接線であるから,  
 $\angle CBO = 90^\circ$   
 線分ABは円Oの直径であるから,  
 $\angle BFA = 90^\circ$   
 よって,  $\angle CBO = \angle BFA \dots\dots ①$   
 また,  $\widehat{BD} = \widehat{DE}$ より,  
 $\angle BOC = \angle BOD = \frac{1}{2}\angle BOE \dots\dots ②$   
 円周角の定理より,  
 $\angle BFE = \frac{1}{2}\angle BOE \dots\dots ③$   
 ②, ③より,  
 $\angle BOC = \angle BFE \dots\dots ④$   
 線分ABと線分EFの交点をGとすると,  
 $EF \parallel CB$ ,  $\angle CBO = 90^\circ$ より,  $\angle BGF = 90^\circ$   
 $\triangle OCB$ と $\triangle FBG$ において,  
 $\angle OCB = 90^\circ - \angle BOC \dots\dots ⑤$   
 $\angle FBG = 90^\circ - \angle BFG = 90^\circ - \angle BFE \dots\dots ⑥$   
 ④, ⑤, ⑥より,  
 $\angle OCB = \angle FBG = \angle ABF \dots\dots ⑦$   
 ①, ⑦より, 2組の角がそれぞれ等しいから  
 $\triangle OCB \sim \triangle ABF$

(答え)  $T : U = 5 : 3$

[問 2]	(2)	6      cm	8
-------	-----	-----------	---

合計得点	
受検番号	

<b>4</b>		点
[問 1]	$a = 2\sqrt{3}$	7
[問 2] 解答例	【 途中の式や計算など 】	10

$EP = x$  cm とすると,  
 $S = \frac{1}{2}(a + (a-x)) \cdot 5 = \frac{5}{2}(2a-x)$   
 $T = \frac{1}{2}(a+x) \cdot 5 = \frac{5}{2}(a+x)$   
 $U = \frac{1}{2}a \cdot 4 = 2a$   
 $S : T = 5 : 4$  のとき,  
 $\frac{5}{2}(2a-x) : \frac{5}{2}(a+x) = 5 : 4$  より,  
 $(2a-x) : (a+x) = 5 : 4$   
 よって,  $4(2a-x) = 5(a+x)$  より,  $x = \frac{a}{3}$   
 このとき,  $T = \frac{5}{2}\left(a + \frac{a}{3}\right) = \frac{10}{3}a$   
 したがって,  $T : U = \frac{10}{3}a : 2a = 5 : 3$

(答え)  $T : U = 5 : 3$

[問 3]	$\frac{8\sqrt{21}}{5}$ cm <sup>3</sup>	8
-------	--	---

合計得点	
受検番号	